

令和7年6月22日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀市八戸二丁目1番27-2号
団 体 名 認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
代表者職・氏名 理事長 井上龍夫 岩永幸三
電 話 番 号 0952-20-2062

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和6年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和6年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク
- 2 事業実施期間 : 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

研究費を助成することで、研究が進展し、1型糖尿病が根絶され、患者（全国12万人、佐賀県800人）と家族（全国48万人、佐賀県3200人）のすべての課題（日々の副作用への対処、合併症の進行、高額な医療費負担、患者の母親の罪悪・絶望感等）が解決されます。この研究費助成を契機に研究者と患者・家族との接点を創ることで、研究者のモチベーションを向上させ、より一層の研究進化がもたらされます。

役員が遺産寄付対策をはじめファンドレイジングができるようになり、研究費助成財源の増加に寄与します。こうした取り組みを通して、1型糖尿病根絶に向けて佐賀から世界基準を創り出します。

企業版ふるさと納税を活用し、小児慢性特定疾病制度の対象外となる医療費支援が無い成人後「25歳まで」の県内の1型糖尿病患者へ医療費支援を行うことで、佐賀で最良の治療を受けられる環境を創り出します。

また、創立29年（佐賀市に本部を移転し24年）を経過し、その間に培ったノウハウを本部のある佐賀県のCSO（市民社会組織）に還元し、自発的な市民社会構築に繋がります。

バックオフィス業務の一部を就労継続支援A型事業所へ委託することで、日本IDDMネットワークの活動継続及び佐賀県内の障がい者の方々への社会的自立に繋がります。

1型糖尿病根絶の歴史を佐賀から創り上げるため、本部事務局を佐賀市で継続・強化（佐賀県民の雇用、佐賀県内の顧問税理士・顧問社会保険労務士の選任等）します。

お礼の品の送付を通して、佐賀県の女性の活躍や地場産業の振興にも繋がります。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

- ・バイオ人工膵島の人への移植（医療用ブタ膵島を人に移植する「膵島補充療法」）は2025年の実現は困難になりましたが、2035年に希望する全ての患者が日帰りで移植を受けられ毎日の注射等によるインスリン補充からの解放に向けて準備は進んでいます。この他にも1型糖尿病根絶に向けた様々な研究が続いており、患者・家族の”絶望”を”希望”に変えることに寄与しています。
- ・企業版ふるさと納税を活用し、佐賀県内の成人（25歳まで）1型糖尿病患者へ医療費助成を開始したことで、医療の質を低下させることなく治療を継続させることに寄与しています。
- ・佐賀市に本部を移転し24年が経過し、その間に培ったノウハウを本部のある佐賀県のCSOに還元し、自発的な市民社会の構築に寄与しています。
- ・佐賀市にある本部事務局を強化し、1型糖尿病分野では「世界に誇れる佐賀づくり」に寄与しています。
- ・お礼の品の送付を通して、佐賀県の女性の活躍や地場産業の振興にも寄与しています。
- ・セキュリティ対策強化に取り組んでおり、ふるさと納税をはじめ各種業務の安全・安心に繋がっていると考えます。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

1型糖尿病根絶（＝予防＋根治＋治療）に向けて研究は進化しており、佐賀から世界基準（バイオ人工膵島移植の実現ほか）を創り出すまでもう一歩という所に到達しつつあります。

企業版ふるさと納税を主財源として取り組む佐賀県内の25歳までの1型糖尿病患者医療費助成は全国の医学会等から注目され、県外の自治体からの問い合わせもあり、この佐賀方式の医療費助成制度が全国に広がることを目指して取り組んでいます。令和7年4月からは自主財源で岡山でも成人（25歳まで）1型糖尿病患者医療費助成を開始しました。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業 (GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載)

| 事業名 | 具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容 | ①実施日時 ②実施場所 | 事業費の 支出金額 [単位: 円] | うち寄附金 活用額 [単位: 円] |
|---|---|---------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 【前年度繰越分】 ①1型糖尿病根絶に向けた研究費助成 | ①人へのバイオ人工膵島移植 (膵島補充療法) を実現するために、国産医療用プタを製造する。 ②全国の1型糖尿病患者・家族 ③一般社団法人医療用プタ開発機構への研究費助成 | ①令和6年6月20日 ②神戸市ほか | 3,500,000 | 3,500,000 |
| ①1型糖尿病根絶に向けた研究費助成 GCF【「わたし治るの？」って聞かれたとき「治るよ」と言っただけであげられなかった一新薬開発への挑戦ー】 | ①1型糖尿病はじめ、同じ自己免疫疾患やリンパ性白血病の治療にもつながる新薬を開発する。 ②全国の1型糖尿病患者・家族 ③以下の4機関への研究費助成 ・国立がん研究センター先端医療開発センターで取り組む「1型糖尿病(T1DM)及び炎症・自己免疫疾患・白血病に対する IL-7R 標的 Antibody-drug conjugate (A7R-ADC) の開発」 ・東京科学大学生命理工学院で取り組む「患者由来 iPS 細胞を用いたヒト1型糖尿病モデルの構築とそれを用いた薬効の検証」 ・東京科学大学 情報理工学院 で取り組む「AI 創薬による ADC/APC 設計支援」 ・国立医薬品食品衛生研究所で取り組む「1型糖尿病治療を目指したタンパク質分解医薬の開発」 | ①令和6年10月21日、31日 ②東京都ほか | 13,800,000 | 13,800,000 |
| ①1型糖尿病根絶に向けた研究費助成 ふるさと納税forgood 【不治の病を発症する子どもたちを無くしたい】ほか | ①ウイルス糖尿病予防コクサッキーBウイルスワクチンを開発する。 ②全国の1型糖尿病患者・家族 ③佐賀大学医学部への研究費助成 | ①令和7年3月24日 ②佐賀市 | 5,500,000 | 3,700,000 |
| ②遺産寄付の促進 | ①1型糖尿病根絶に向けた研究費助成をさらに加速する。 ②全国の支援者 ③専門家の助言に基づく広報 | ①通年 ②佐賀市ほか | 660,000 | 660,000 |
| ③ファンドレイジング対策 | ①1型糖尿病根絶に向けた研究費助成をさらに加速する。 ②全国の支援者 ③誘致CSOテラ・ルネッサンス創設者でもある鬼丸昌也氏によるファンドレイジング研修、マンスリーサポーターキャンペーンの実施、ジャパンタイムズへの広告掲載及び助成研究の成果発信 | ①通年 ②佐賀市ほか | 2,890,942 | 2,500,000 |

| | | | | |
|-----------------------|---|---------------|------------|------------|
| ④企業版ふるさと納税 事業の推進 | ①佐賀県の成人1型糖尿病患者医療費助成及 び佐賀大学医学部が取り組む研究の支援 ②佐賀県を除く全国の企業 ③佐賀県の成人1型糖尿病患者医療費助成及 び佐賀大学医学部が取り組む研究支援を行 うための寄付要請業務委託 | ①通年 ②全国各地 | 176,000 | 176,000 |
| ⑤中間支援業務 | ①自発の地域づくりの推進 ②佐賀県内のCSO（市民社会組織） ③佐賀県CSO指定ふるさと納税研究会の運営 や各種助言 ※費用は「ふるさと納税の募集に要した費 用」に計上 | ①通年 ②佐賀市 | 0 | 0 |
| ⑥事業運営のための業 務委託 | ①日本IDDMネットワークの活動継続及び県 内障害者の就労支援 ②就労継続支援A型事業所職員 ③バックオフィス業務の一部（発送業務 等）を当該事業所へ委託 | ①通年 ②佐賀市 | 432,028 | 424,000 |
| ⑦本部事務局（佐賀 市）役職員人件費 | ①本部機能の強化と佐賀県民の雇用 ②佐賀県民 ③本部事務所（佐賀市）に勤務する役職員 （佐賀県民）の人件費<ふるさと納税業務 に関する人件費を除く> | ①通年 ②佐賀市 | 15,291,988 | 12,000,000 |
| ⑧事務局運営費 | ①本部機能の強化 ②佐賀県民及び全国の支援者 ③セキュリティ対策、本部事務所（佐賀 市）の賃料、顧問税理士・顧問社労士への 報酬等 | ①通年 ②佐賀市ほか | 6,765,092 | 6,010,735 |
| 計 | | | 49,016,050 | 42,770,735 |

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

| 事業名 | 具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容 | ①実施日時 ②実施場所 (見込み) | 事業費の 支出見込み額 [単位: 円] | うち寄附金 活用見込み額 [単位: 円] |
|---|--|-------------------------|---------------------------|----------------------------|
| ①1型糖尿病根絶に向けた研究費助成 GCF【「一生治らない」と宣告された1型糖尿病の子どもたちに「治る」希望を 2025年に日本初のバイオ人工膵島移植を実現したい】 | ①ブタ膵島を用いたバイオ人工膵島臨床実用化を目指した臨床試験に取り組む。 ②全国の1型糖尿病患者・家族 ③国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センターへの研究費助成 ※令和7年4月19日助成決定通知済(当センターの事務待ち) | ①令和8年6月まで(予定) ②東京都 | 50,000,000 | 43,000,000 |
| ①1型糖尿病根絶に向けた研究費助成 | ①バイオ人工膵島の量産化システムを構築する。 ②全国の1型糖尿病患者・家族 ③神戸大学大学院医学研究科への研究費助成 | ①令和8年3月まで(予定) ②神戸市ほか | 10,000,000 | 10,000,000 |
| <参考> ②成人1型糖尿病患者医療費助成 | 企業版ふるさと納税に目途が立ったため、令和6年度繰越計上していた650万円は、この個人版ふるさと納税は活用しないこととした。 | — | — | — |
| 計 | | | 60,000,000 | 53,000,000 |

(別記3) 寄附金活用額

| | | |
|-------------------------------------|--------------------------------|--------------------|
| 【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B) | | 120,000,000 |
| (内訳) | 本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A | 90,000,000 |
| | 本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分 | 88,249,622 |
| | 前年度控除額(県事務経費)還付分 | 1,750,378 |
| | 前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B | 30,000,000 |
| 【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b) | | 67,000,000 |
| (内訳) | 事業に活用した寄附金額 … a | 42,770,735 |
| | ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b | 24,229,265 |
| | 返礼品等の調達に係る費用(令和6年4月から令和7年3月まで) | 17,806,462 |
| | 返礼品等の送付に係る費用(令和6年4月から令和7年3月まで) | 2,938,590 |
| | 広報に係る費用(令和6年4月から令和7年3月まで) | 1,966,267 |
| | 事務に係る費用(令和6年4月から令和7年3月まで) | 1,517,946 |
| 佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②) | | 53,000,000 |

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://japan-iddm.net/wp-content/uploads/disclosure/2023houkoku.pdf>